

国語科学習指導案

授業日時 平成 30 年 8 月 28 日 (火) 第 4 校時
 授業学級 3 年 D 組 男子 20 名 女子 20 名 計 40 名
 授業会場 3 年 D 組 (406) 教室
 授業者 _____
 指導教員 _____

1、単元名 「慣用句・ことわざ・故事成語にくわしくなろう！」(3 年「慣用句・ことわざ・故事成語」)

2、主眼

慣用句・ことわざ・故事成語を学ぶ場面で、教師が出題するクイズによって慣用句の意味を推測したり、慣用句・ことわざ・故事成語を使った例文を書く活動を行ったりすることを通して、慣用句・ことわざ・故事成語に関する考えを深めたり、それらを使った短文を書くことができる。

3、指導上の留意点

・イラストやパワーポイントを準備することで、意味を想像したり、親しみやすくなったりするようにする。

4、展開

過程	学習内容【学習形態】	予想される生徒の反応や意識(◎)	支援(・) 評価	時間
導入	1 本時の学習の見通しを持つ。 【全体】	◎本当に骨を折るわけではないのに、どうして「骨を折る」という言い回しが使われているのかなあ。 ◎そういえば「身を粉にする」も同じ構成だなあ。	・「骨を折る」を使った例文を紹介することで、慣用句について興味を持ち、考えることができる。	10
	学習問題：慣用句・ことわざ・故事成語に親しもう！			
		◎そういう言葉、聞いたことはあるけど何ていうんだっけ。 ◎ことわざや故事成語にもちゃんとした定義があるんだなあ。 ◎故事成語って中国の古典からきているんだなあ。だから、漢字が多いのかあ。 ◎イラストがあるからわかりやすいなあ。 ◎こういう時に使うんだ。	・「慣用句・ことわざ・故事成語」の説明をすることで、慣用句・ことわざ・故事成語の定義を確認することができるようにする。 ・イラストを用い慣用句・ことわざ・故事成語の説明をすることで、実際の場面を想像しやすくなるようにする。	
	学習課題：慣用句・ことわざ・故事成語クイズを解いたり、例文をつくったりしてそれらに親しもう。			
展	2 教師が出題する慣用句・ことわざ・故事成語の問題を解きながら、それらの意味を知る。 【全体】	◎こんな慣用句もあるんだ。 ◎おもしろい慣用句もあるんだなあ。 ◎こういう意味だったんだ。 ◎パワーポイントのイラストみたいな場面で、こういうことわざ使えるんだなあ。	・パワーポイントで慣用句・ことわざ・故事成語に関する問題を 3 問出題することで、それらの意味を考えることができるようにする。 ・問題にイラストを挿入することで、慣用句が使われる場面なども想像しやすくなるようにする。	10
	3 ワークシートにある慣用句・ことわざ・故事成語の問題を解く。 【個人・全体】	◎これは慣用句だな。 ◎これは中国の古典に由来しているから故事成語だな。	・個人で考える時間を設けることで、考えながら問題を解くことができるようにする。	10
	4 問題に使われた慣用句・ことわざ・故事成語うちどれか一つ使って、例文を書くことで、それらの意味を理解	◎「テスト期間になり、背水の陣で勉強に取り組む」 ◎「かわいい猫なら目に入れても痛くない」 ◎「アナウンサーがかむなんて、猿も木	・問題に使われた慣用句・ことわざ・故事成語からどれか一つを選んで、例文を書く活動を行うことによって、慣用句・ことわざ・故事成語の理解を深めることができるようにする。	10

